

岩船大豆情報 No.1

令和2年5月7日
村上農業普及指導センター

1 令和2年産大豆「高品質・多収栽培」のポイント

- ・作付ほ場の団地化（周囲水遮断）
- ・排水対策の徹底（周囲明きよ、弾丸暗きよの施工）
- ・碎土率（直径2cm以下の土塊割合）を70%以上とするていねいな耕うん作業
- ・種子消毒、は種後除草剤散布の徹底
- ・中耕・培土の2回実施
- ・干ばつ時のかん水対策の実施
- ・開花期以降の基幹防除、子実害虫防除の徹底
- ・適期収穫の実施

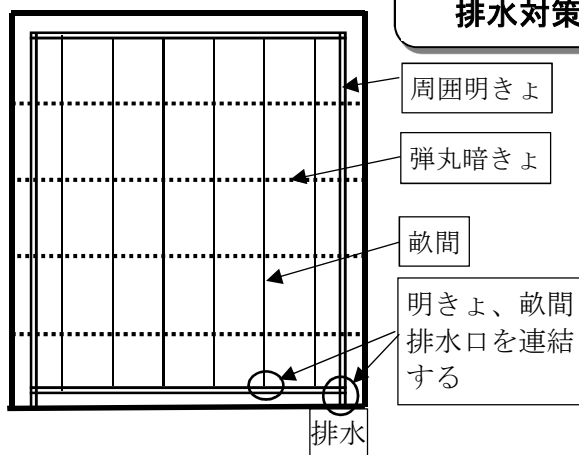
目標収量
270kg/10a
目標品質
2等級以上60%

【参考】村上地域における大豆の検査状況（「岩船地方における稲作概況」より）

年度・品種名		検査数量 (個/30 kg)	等級比率 (%)				
			1等	2等	3等	合格	規格外
R1	エンレイ	3,690	—	20.5	48.2	30.3	1.0
	あやこがね	352	—	47.7	34.4	17.9	—
	里のほほえみ	3,151	13.1	22.5	31.9	30.8	1.7
	合計	7,193	5.8	22.7	40.4	29.9	1.2
H30 (全品種)		7,544	0.6	10.4	48.7	39.0	1.3
H29 (全品種)		12,952	10.4	24.8	45.0	16.9	2.9
H28 (全品種)		14,004	9.3	19.0	51.2	19.9	0.5
H27 (全品種)		13,908	6.7	19.7	29.3	44.1	0.3

2 排水対策の徹底

排水対策のイメージ

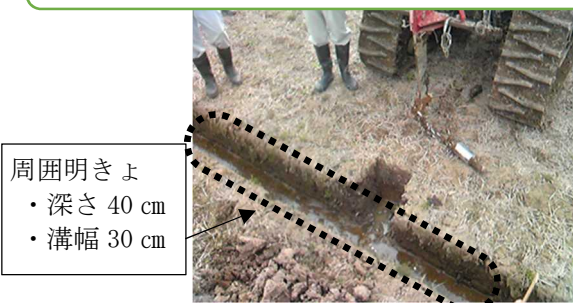


- 排水対策の徹底が、多収穫に直結します！
- 降雨後の表面停滞水を1日以内に排水出来てないところは排水対策が不足しています！

排水対策のポイント

- ① ほ場周囲に明きよを掘り、排水口に確実につなげる(溝幅20~30cm、深さ30~40cm)。
- ② 弾丸暗きよは深さ30~45cm、間隔は透水性の悪いほ場では2~3mおきに施工し、透水性が良いほ場では間隔を広げる。
- ③ 畝立て同時は種を導入する。

周囲明きよ及び弾丸暗きよの施工例



排水の悪い事例



3 種子消毒

- (1) 種子消毒により、ネキリムシ類、タネバエ、苗立枯病、紫斑病などを適切に防除しましょう。
- (2) クルーザーMAXXを使用する場合は、キヒゲンR-2フロアブルの処理は不要です。

薬剤名	希釈倍率	使用時期	処理方法	散布液量	本剤の使用回数	対象病害虫
クルーザーMAXX	原液	は種前	塗抹処理	乾燥種子 1kg に対する塗抹量 8mℓ	1回	茎疫病、紫斑病、白絹病、苗立枯病(ピシウム菌)、リゾクチア根腐病、黒根腐病、アブラムシ類、フタスジヒメハムシ、ネキリムシ類、タネバエ、ハト・キジバトによる種子食害忌避

4 施肥

- (1) 大豆は多量の窒素を必要とするため、根粒からの窒素供給が重要です。根粒菌は酸性を嫌うため、ほ場に応じた酸度矯正を行いましょう。また、大豆は大量にカルシウムを必要とすることから、酸度矯正とカルシウム補給を兼ねて石灰質肥料を施用しましょう。
- (2) 基肥成分量は、10a 当たり窒素 1.5~2.5 kg、リン酸 6~8 kg、カリ 6~8 kgを目安に施用しましょう。

	資材名	施用量 (kg/10a)	成分率(%) N-P ₂ O ₅ -K ₂ O アルカリ分(CaO)	成分量(kg/10a)			
				N	P ₂ O ₅	K ₂ O	アルカリ分
酸度矯正 土壌改良	粒状苦土炭カル(M-10)	130	アルカリ 55	—	—	—	71.5
	ケイカル(粒状)	160	アルカリ 45	—	—	—	72.0
	70 粒状石灰	100	アルカリ 70	—	—	—	70.0
基肥	ニュー大豆 800	20	8-30-20	1.6	6.0	4.0	—
	有機入り大豆配合 2号	20	8-12-14	1.6	2.4	2.8	—

5 耕うん、は種

- (1) 排水対策を早めに行い、ほ場をよく乾かしましょう。
- (2) 排水不良、重粘土質ほ場は、できる限りほ場が乾いた条件の良い日に耕うんを行いましょう。
- (3) 耕うん・砕土・整地の作業は、連続作業で行う(耕うん後に雨が降るとほ場が乾きにくくなります)。
- (4) 作業は速度を落とし、耕うんピッチを下げ作業しましょう(1回の耕うんで細かくすることが効果的です)。
- (5) は種時期と栽植密度は下表を参考に適切に行ってください。
- (6) 「里のほほえみ」は、種子が大きいので大粒用のは種目皿等を使用しましょう。
- (7) 表層の砕土が荒く、は種後に晴天が続くと予想される場合は、は種深をやや深めにしてください。

は種時期とは種密度の目安

は種時期	5月末~6月10日	6月11~20日
エンレイ	9~10粒/m ²	13~18粒/m ²
あやこがね	13~15粒/m ²	16~19粒/m ²
里のほほえみ	13粒/m ² (6月からは種)	



6 雑草対策

- (1) 耕起前の雑草が多いと、出芽・苗立ちの低下を招くことがあります。あらかじめ枯殺しておきましょう。
- (2) 耕起前に茎葉処理剤を散布するときは、周辺の水稲に飛散しないよう注意しましょう。
- (3) は種後の除草剤は効果を安定させるため、は種直後、土壌が乾燥する前に散布しましょう。
- (4) 帰化アサガオ類が発生しているほ場は、効果の高い除草剤と中耕・培土を組み合わせた体系防除を実施しましょう。

- ・ 農薬は、農薬使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・ 農薬を使用する際は最新の登録状況を良く確認し使用しましょう。
- ・ 農薬は、令和2年4月23日現在の登録状況により掲載しています。

